

2015年度・決算書要約

単位：千円

貸借対照表

2016年7月31日

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預金	541,861	共済契約準備金	164,773
その他資産	56,667	その他負債	16,301
		負債合計	181,074
		(純資産の部)	
		出資金	206,845
		利益剰余金	210,609
		純資産計	417,454
資産合計	598,528	負債及び純資産合計	598,528

損 益 計 算 書

2015年8月1日より2016年7月31日まで

剰 余 金 処 分 計 算 書

2016年10月23日

	科 目	金 額
	I 経常収益	
	1 共済引受収益	384,841
	2 教育情報費用繰越金戻入	5,200
	3 資産運用収益	10
	4 その他経常収益	38
	経常収益合計	390,089
経	II 経常費用	
常	1 共済引受費用	
損	共済金	89,972
益	代理店手数料	24,182
の	支払備金繰入額	22,526
部	普通責任準備金繰入額	110,305
	異常危険準備金繰入額	7,723
	計	254,708
	2 一般管理費等	24,268
	経常費用合計	278,976
	経常利益金額	111,113
	税引前当期純利益	111,113
税	法人税等	11,404
等	法人税等調整額	600
	当期純利益	99,109

I 当期末処分剰余金

1	当期純利益金額	99,109
2	前期繰越剰余金	11,100
		110,209

II 剰余金処分別

1	利益準備金	19,900
2	教育情報費用繰越金	5,000
3	組合積立金	10,000
4	利用分量配当金	62,784
		97,684

III 次期繰越剰余金

12,525

2015年度実績

開業医共済休業保障制度給付率	35.3%
利用分量配当率	26%
ソルベンシーマージン	1386.8%

※ソルベンシーマージンとは、保険会社等の財務健全性を示す指標で、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる支払余力をどれだけ有しているかを意味します。行政監督上は、200%を下回ると監督当局によって、早期に経営の健全性の回復を図るための措置がとられます。